

## 制作活動 ～「クリスマスのかざいをつくろう編」～

放課後等デイサービスの活動として、制作は取り上げやすいテーマだと思いますが、利用しているお子さんの中には、制作活動を好まないお子さんもいるのではないのでしょうか。お子さんの気持ちになって考えると……

- これから何をするのかわからない
- 上手くできないから、したくない
- 課題に興味がない
- 友達と一緒にするのが嫌だ 等々が理由として考えられます。

今回は、お子さんが興味をもてそうな題材と、制作活動にお子さんがのれるための工夫についてお伝えします。

### ポイント

#### ●手順を絵や写真、文字で表した手順表を用意し、子どもの前に置く

どのような手順で作業を進めるとよいのか視覚的に確認できるように、手順書で提示します。お子さんの理解度にもよりますが、手順書のひとつひとつの工程に絵や写真を用いて具体的なイメージを持てるようにし、自立的に作業ができるよう支援を行います。

お子さんに応じて工程数を減らす等して、難易度にも配慮をしましょう。

【実際に使用した手順書】

1	 めと はなを かく
2	 ○と □を はる
3	 ぼうしを はる
4	 ひげを つける

## ポイント

### ●達成感を味わわせ、成功体験で終わるようにする

制作に限らず、活動に対して苦手意識のあるお子さんは、失敗体験のあるお子さんが少なくないようです。また、発達障害のあるお子さんは、その特性から褒められるよりも叱られたり注意されたりすることが多く、課題をやりとげて満足感や達成感を感じる等の経験が乏しくなりがちとも言われています。ほんの少しの頑張りでも褒めてあげることで、褒められる経験の積み重ねがお子さんのやる気や自己肯定感につながるのではないのでしょうか。

下の作品は、手順書で示された向きとは異なる向きにトナカイの角がつけられていますが、その修正を求めるのではなく、「トナカイのまつげが可愛いね」「トナカイにリボンがついているね」「ドットシールをたくさん貼れたね」等、できて当たり前と思われることであっても声に出して褒めることが大切になります。

